

ニユース

○ 26年度電源開発計画成る

さきに新発足せる9電力会社では、26年度電力施設計画として、水力37ヶ地点(817 449 kW)、火力16ヶ地点(555 300 kW)合計53ヶ地点(1 372 740 kW)で、開発資金600億円の中、自己資金350億円、見返資金250億円の予定である。

この工事計画は継続工事150億円、新規工事200億円その他の発送変電拡充工事に充てることになつてをり各電力会社別開発地点は次の通りである。

(新は新規工事、継は継続工事)

北海道電力

地 点	出力(kW)	資金(100万円)
水力		
漁 川(継)	780	32
江 卸(〃)	8 600	26
久 保 内(〃)	7 200	318
蘭 越(〃)	5 700	327
然 別 第 1 (新)	11 400	121
〃 第 2 (〃)	7 100	311
火力		
江 別(継)	14 000	338
砂 川(〃)	27 000	83
〃 (新)	27 000	515
龜 田(〃)	3 300	99

東北電力

水力		
沼 沢 沼(継)	43 600	769
夏 瀬(〃)	19 000	549
柳 津(新)	51 000	535
片 門(〃)	38 000	411
立 石(〃)	3 500	57

東京電力

水力		
箱 島(継)	23 000	1 024
小 田 切(新)	16 500	584
笹 平(〃)	12 900	316
三 田(〃)	8 400	329
幸 知(〃)	14 400	524
火力		
湖 田(新)	20 000	325
〃 (〃)	50 000	1 000

中部電力

水力		
平 岡(継)	41 000	1 940
朝 日(新)	20 800	631
久 瀬(〃)	17 000	221

火力			
名 港(新)	75 000	1 100	
北陸電力			
水力			
五 条 方(新)	15 000	201	
寺 津(〃)	62 000	925	
関西電力			
水力			
成 出(継)	35 000	717	
新 庄(〃)	7 000	511	
滝 越(〃)	27 500	504	
丸 山(新)	105 000	1 350	
火力			
尼崎第2(新)	77 000	820	
中国電力			
水力			
新 湯 村(継)	8 510	231	
森 原(〃)	6 300	464	
火力			
小 野 田(継)	30 000	220	
〃 (新)	30 000	600	
四国電力			
水 力			
第 5 黒川(継)	3 700	94	
松 尾 川(新)	6 000	50	
火力			
西 条(新)	8 000	120	
九州電力			
水力			
甲 佐(継)	3 900	137	
津 江(〃)	2 600	151	
上 椎 葉(〃)	100 000	1 181	
夜 明(新)	8 600	446	
火力			
港 第 2 (継)	54 000	638	
築 上(〃)	35 000	1 244	
〃 (新)	55 000	900	
相 浦(〃)	50 000	800	

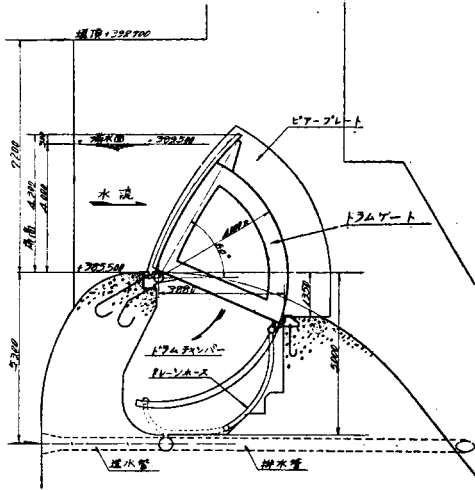
○野洲川ダムに本邦最初のドラムゲートが設置さる

ドラムゲートはアメリカでは1918年頃より研究され実際に使用されてきているが、わが国では本邦最初のドラムゲートが野洲川ダムに計画せられ、今回その据付を完了した。

図-1はその構造の大要を示したものである。高さ4.3m、長さ17mで、総工費は14 500 000円(据付費とも)、製作は田原製作所である。本年3月中旬据付作業を開始し、6月末日据付を完了した。近く高水を待つて試運転の運びとなつている。

(農林省野洲川農業水利改良事業所 記)

図-1



○岩井博士渡米す

京都大学教授岩井重久氏は、今回ロックフェラー財団より奨学金をうけ、米国ハーバード大学工学部大学院に於て、約1ヶ年間の予定で衛生工学を研究するため、6月29日横浜港より航路渡米された。

○学位授与者について

編集部では終戦後より今日まで、工学博士の学位を得られた会員について各大学の協力を得て調査したところ表-1のような結果を得た。東京大学第一工学部の分は未着につき次号に発表する。

尚発表機関欄中空白の部分は、調査が行届かないため、この点各位にお詫び申上げる。

表-1 終戦後より今日までの学位授与者一覧

授与年月日	氏名	主論文題目	提出大学	発表機関	審査員氏名
昭.21. 1.28	篠原 謹 爾	セメント糊の強度に関する基礎的研究	九 大	九大工学部紀要 第10册第2号	三 瀬 幸三 郎 水 野 高 明
昭.21. 6.24	千 秋 邦 夫	輪軸の構造に依る軌条横応力に関する研究	北 大	学会誌 27-8	真 井 耕 象 阿 久 津 国 造 金 俊 三
昭.21. 8.21	板 倉 忠 三	機械的図上計算法による三角網の調整計算について	北 大	学会誌 26-9 29-1~3 土木技術 3-12	林 猛 雄 池 田 芳 良 金 俊 三
昭.22. 5.15	松 尾 春 雄	擁壁に使用する地震時土圧に関する実験的研究	九 大	港湾 25年12月 学会第6回年次 講演会	渡 辺 恵 弘 水 野 高 明 村 上 正
昭.22. 6.23	星 埜 和	基礎支持力理論に関する研究	東大二工		沼 田 政 矩
昭.22.11.19	岡 本 舜 三	素堀坑の強さに関する弾性	東大二工		福 田 武 雄
昭.22.11.25	渡 辺 寛 治	長大隧道建設に関する研究	東大二工		釘 宮 馨
昭.23. 3.19	村 山 朔 郎	隧道設計に於ける排煙上の諸問題	京 大		石 原 藤 次 郎 近 藤 泰 夫 小 林 勇
昭.23. 6.30	水 野 高 明	2次元に於ける地盤の支持力に関する研究	九 大	学会誌 28-11, 29-5, 30-1 建設工学 2-1 九大工学部 紀要 11-2	鷹 部 屋 福 平 石 橋 正 正 村 上 正
昭.23.10. 4	小 野 竹 之 助	鉄筋コンクリート梁の設計理論に関する研究	日 大	土木技術 セメントコンク リート	鈴 木 雅 次 当 山 道 三 楠 宗 道
昭.24. 2.15	石 川 栄 耀	東京復興都市計画設計及び解説	東大二工		沼 田 政 矩

昭.24. 4. 1	岩井重久	継続曲線の水文統計学的研究	京大		石原藤次郎 近藤泰太郎 武居高四郎
昭.24.11.22	谷藤正三	路盤に関する土質力学的研究	京大		武居高四郎 近藤泰太郎 石原藤次郎
昭.25. 4.20	重松 愿	不静定構造の解法に関する弾性モーメントの理論及びその適用	京大		小西一郎 棚橋 朔 村山 朔
昭.25. 6.16	倉田宗章	矩形組合板の捩屈に関する理論及び実験的研究	北大	北大工学部紀要 8-2, 3 建設工学 1, 2 学会論文集第6号 学会誌 36-2	酒井忠明 阿久津国造 金 俊 三
昭.25. 8. 8	横道英雄	河西橋に関する報告及び研究	北大	学会誌 28-7,8 29-2,7,30-2 北海道土木試験 所報告 3,4	大坪喜久太郎 池田芳三郎 金田 俊 三 酒井 忠 明
昭.25.12.19	岩井四郎	砂濾過池を中心とする浄化機能について	京大		武居高四郎 岩井重次郎 石原藤次郎
昭.25.12.19	中安米蔵	治水計画に於ける洪水流量について	京大		石原藤次郎 岩井重次郎 近藤泰太郎
昭.25.12.23	岡本但夫	樹枝状構造論	東大二工		安芸 俊 一
昭.25.12.25	矢野勝正	河川総合開発論	京大		石原藤次郎 近藤泰太郎 岩井重次郎
昭.26. 3. 3	喜内 敏	梁及び版の撓み振動について	京大		国井修二郎 林重憲 石原藤次郎

○国鉄グリーンパーク線について

今回東京西郊に誕生した武蔵野競技場は、武蔵野市旧中島飛行機工場敷地に建設されたもので、陸上競技場(12000坪, 4万人収容)、ラグビー場(5000坪, 2万人)、野球場(1500坪, 5万人)、水泳場等既設のものに、更に各種競技場を併設した戦后随一の大スポーツセンターである。

本線はこの競技場に集散する乗客輸送のため特に中央線三鷹～競技場間 3.2km に建設された。

競技開催日の輸送目標について、後楽園球場の実例は、63回のプロ野球公式試合に13364000人、最高1日55000人、最低1日52000人、平均21000人、の入場者であつて、同球場収容能力40000人の約50%である。

武蔵野競技場野球場(東京スタジアム)では一応平均入場予定人員を最高収容能力の20%14000人と推定、ピークを2倍とすれば28000人となり、この輸送を次のように考える。

国電利用者 50%、西武利用者 35%、バスその他15%、国電輸送計画は、電車8輛編成、1車300人(乗車効率200%)、1編成2400人乗車とし、試合終了後約40分間で輸送する。電車の運転所要時隔を約8分、8分ヘッド6本運転で40分間に14400人

を輸送し得る。

本工事は旧中島飛行機工場の請願線(武蔵境一工場間)の途中に三鷹駅より新線を布設し接続させ、既設線の軌道を補強整備し、更に之より右折して球場前まで新線を作り駅設備と電車運転に必要な諸施設を整えたものである。その施設は

頭端式ホーム: 巾4.6m~1.2m, 延長190m 1面
着発線: 2線, 延長180m
駐留線: 2線, " 210m
及び本屋である。

○渡米留学生について

ガリオア資金による第3回渡米留学生は、去る7月13日横浜より航路出発したが、その中学会員の渡米留学生は次の通りである。尚これは本会に挨拶のあつた方のみであり、他は判明次第発表の予定である。

伊吹山四郎 福岡特別調達局契約部役務契約課長兼建設省九州地方建設局企画部勤務
カリフォルニア大学
樋口 芳朗 国鉄鉄道技術研究所コンクリート実験室
イリノイ大学
都 淳一 " 土質研究室
ミシガン大学